ゲームマシン
THE GAME MACHINE

発行所
ゲームマシン社
大阪市北区木幡町45アドビル内
〒530 電話 06 (313)0451 内41
定価1部 200円
年間購読料（送料共） 7,200円
本紙ご購読ご希望の方は、上記あて現金書留にてご送金下さい。

この1年間予想外の過熱化
メダルゲームの行方に不安
協議会「メダルゲーム」を12月に発刊

メダルゲーム協議会（事務局＝東京都世田谷区成城九の三十二の三、㈱シグマ内、加盟十八社、八十店舗）は、十二月一日、新聞「メダルゲーム」を発刊。業界に対する方針を明らかにすると同時に、同協議会の強化に乗り出した。

同協議会は昭和四十八年七月に発足。メダルゲームの草わけとも言えるメダルゲーム場の堅実な運営方針を模索してきたが、ここ一年間予想外とも言えるほど全国に拡がったメダルゲーム場の全般に対して、これといった指導的立場を発揮することがなかった。しかしそれでも、ゲーム場の発展を促進するための大きな基礎となった「メダルゲーム場運営基準」を定めるなど、関係官庁や関係業者の間にあって、大きな意義を果してきたこともはっきりしている。

だが大阪・兵庫ではゲーム機を使ったとばくが全国でも群を抜いて多くなり、それが全国化するなど、ゲーム機やゲーム場の増加はそのまま、ゲーム機を使ったとばく犯の増加となってあらわれてきている。これは、同協議会が進めてきた「メダルインメダルアウト方式」の完全な裏返しであり、悪用である。ブームを作るのに役立った健全さは、今では逆に悪事を働くのに利用されている。この事実こそ予想外であり、とても考えられなかったことなのである。しかしこのままでは、健全業者もろともに、メダルゲーム場は全面閉鎖に追い込まれることになるだろう。

警視庁は業界の方向がとばくに向いている限り、輸入禁止などの措置のほか、法改正などの強力な行政措置で、ゲーム機業界のカイ減を図る方針である。また、そうでなくとも、とばくをやっているゲーム場やリース業者を着々と摘発していっている。問題は、遊びしか提供しない、つまり換金せずに客に楽しみしか与えないゲーム場までが規制されるおそれまで出てきていることである。これはゆゆしき事態である。

「メダルゲーム」創刊号は、そういった事態を背景に生み出されてきたが、トップ記事に「終焉が近いメダルゲーム」との記事を掲載、コラムでは警察庁の考えなども報道している。本紙記事に対する批判もあるが、謙虚に受けとめれば、本紙が明確な立場を貫いていなかった点など、多くの点において間違っていたことは明白である。ゲーム場が悪の温床にならぬよう、今後は一層努力したい。

発行態勢、紙面刷新のお知らせ

本紙は八月十日の創刊号以来、発行の遅れをずっと残しながら、ついに年末を迎えました。創刊以来暖かいご支援をいただいております読者、関係各位に対して厚く感謝申し上げるとともに、これを機会に、発行態勢の整備ならびに紙面刷新を行ないたいと存じます。

その主な内容は次のとおりですが、どうかご了解たまわりますようお願い申しあげます。

① **発行所をゲームマシン社から日本出版企画制作㈱に改めます。**

② **発行日付のズレをただす意味で、十二月の三回分を休刊扱いにします。**

③ **新聞の中立、正確、速報性を確立する方向で、紙面の刷新を行ないます。**

なお、①②において、すでに購読料をいただいております読者には、ご迷惑をおかけしないようにいたします。年間購読料は本紙三十六回分と読み替え、号数において欠けることがない、ということでご了解下さいますようお願いします。

論潮
とばくに使われるゲーム機 取扱い業者の責任重大

「営業所内にロタミント、スロットマシン等のギャンブル機具を置いて賭博行為をさせないこと。コインの代りに現金を使用して遊技をさせたり、また勝ったコインを現金に換えると、賭博罪になり、営業者も客も処罰される。（営業者は、場合によっては常習賭博罪になる。）

○コインを使用して遊技をさせる場合でも、賞品を提供すると無許可風俗営業で処罰される。」

これは警視庁から配布されている「風俗営業等の手びき」の一節である。キャバレー、バー、料亭、喫茶店、麻雀屋、パチンコ店などがふつう風営法（風俗営業等取締法）に規制されている風俗営業であるが、数多くの許可条件のなかでも、風俗営業をする際に必らず守らねばならないもののひとつが、この冒頭に掲げた項目である。守っていないと、当然ながら風営許可は取消される運命になる。

街の喫茶店やスナックなどで、ゲーム機を使ってとばくをやっているのは、実にとんでもない話である。ゲーム機をそこに置きにくるリース屋、とばくをさせている喫茶店、それにとばくをする客はすべて犯罪者である。逮捕、没収、押収などがソク予想されるし、店はとりつぶされる運命にある。だのになぜ、こんなことをするのだろうか。

犯罪にはしばしば、われわれには思いもよらない理由や原因がひそんでいる。だが、この場合は、そういうとばく行為のボロい儲けが理由になっていることは、だれの目にも明らかである。客にしろ業者にしろ、犯罪で儲けたカネが、まっとうなカネとは思うまい。かくしてあとは、いよいよ犯罪を重ねていくことになる。あと戻りはなかなかできない、というわけだ。

もちろんわれわれは、そういう連中に対する取締りを願わずにはおれないわけであり、業界の中からその種の犯罪者が出ないことを望まないわけにはいかない。そして、そういう悪質な連中を孤立させ、絶滅させるべく、業者がみんな、犯罪追放に立上がるよう訴える次第である。

ことに最近目立って増えてきている、ゲーム場でのとばく犯は、業界全体に対して決定的な汚点を与えている。このさきは、行きつくところまで業界は行かねばならず、それは自殺行為そのものと言うことができる。われわれはなんども訴える。業界からそういう犯罪者を一掃すべく、業者はみんな立ちあがるべきである。

スロット四機種など新製品発表

バリージャパンのレセプション

十二月十九日、東京プリンスホテル、サンフラワールームにおいて、バリージャパンによるニューモデルショーならびにレセプションが開かれた。

主催者であるバリージャパン・コーポレイション（本社東京、ジェイ・ルックリン社長）とジェイ・ルックリン・アミューズメント《ホンコン》リミッテッド（本社等同上）によるこの催しのために、米国バリー本社から、本社社長子息のウィリアム・T・オダニエルジュニア氏らも来日。会場を訪れた関係業者と懇談の風景が見られた。

米国バリー社の製品は定評があり、日本でことし爆発的なブームとなった各地のゲーム場に、バリー社製品のないところはないぐらいである。従って現在日本は、同社にとって大きな市場であることは明らかで、日本に輸入される同社製品の数もウナギ昇りだと言われている。そこでバリーの日本支社として、このほど一年間の感謝の気持を表わすとともに、来年にむけてスロットなどバリーの新製品発表を行ったわけである。

招待された多数の業者を前に、バリー社の新製品が紹介されたが、主なところでは次の製品があげられる。

デラックス・マルチプライアー（本紙第七・八合併号掲載）、十五枚まで一度に入れられるジュリオン・スリーライン・マルチプライアー、絵柄が紙幣のデザインとなったトレジャリー、それにボーナス・セブンの、スロットマシン四機種。

エンバシー・クラブ、スーパー・バーの、ボックスタイプのスロット二機種。

ウォールストリートなどフリッパー三機種。

ロンドンショー視察団を募集

㈱さとみ主催　15日間の旅程

恒例のロンドンショーは、来年一月二十八日から開かれる。この視察団は目下募集中であるが、申込はお早い目に——。

毎年開かれているロンドンショーは、来年は一月二十八日から英国ロンドンにあるホテル・メトロにおいて、三日間にわたって開かれる。米国MOAショーと並び称されるこのショーは、ヨーロッパを中心として、ゲーム機、レジャー機器を集めた国際的な催しである。

ヨーロッパ各地の業界視察を兼ねて、このショーを見学する視察旅行も、例年どおり計画されている。㈱さとみ（本社東京、里見治夫社長）主催、㈱シグマ（本社東京、真鍋勝紀社長）他協賛で進められている「ヨーロッパアミューズメント業界視察団」がそれで、今回はその第三回めの企画である。

同視察団はきたる一月二十六日に日本を出発、ロンドンショーなどの視察を経て、二月九日に帰国する予定で、十五日間の旅行となる。費用はおよそ四十二万七千円で、参加者を目下募集中である。なお、申込・問合せ先は次のとおりである。

①　東京都板橋区徳丸四の十七の十　㈱さとみ（担当）浦尾氏。☎〇三（九三六）四五一一。

②　東京都千代田区内神田一の七の四　東京観光航空㈱（担当）林氏。☎〇三（二九五）四一一一。

オガ・コーポ倒産

負債総額一億三千万円

国産ゲーム機の販売で有力な業者であるオガ・コーポレーション（東京都豊島区南長崎四の七の五、小川一公社長、個人経営）が、この十二月はじめ不渡りを出し、倒産が決定的となった。

同社は手広く国産ゲーム機やスロットなど輸入機を扱っていたが、手をあまり広げすぎたため、決済が困難になったのではないか、と関係者は見ている。

伝えるところによると、負債総額は一億三千万円程度で、被害を受けた債権者には、フジ・エンタープライゼス㈱、ジャパンレジャー、㈱エスコ貿易、ダックス貿易㈱、開進工業、コスモ商会などの名前があげられている。

「レジャー産業」エコセン行詰る

雑誌「レジャー産業」で知られているエコセン（本社東京、森川宗弘社長）の経営行詰りが表面化した。全般的なレジャー産業の成長とともに急成長した同社も、レジャー熱急冷化とともに売上げが急減、資金操りがつかなくなったわけである。

調べによると同社の負債総額は二億五千万円で、うち銀行などからの借入金が一億三千万円、大日本印刷が六千万円、その他となっている。同社では債権者で委員会をつくり、会社整理を行うよう進めている。

「レジャー産業」は日刊総合雑誌で、広範な読者を持っていたが、同社の行き詰りで当面のところ、発行はありえない見通しである。

黒い報告書

仙台 ゲーム機泥棒捕まる

″違法なので安心だ″

【仙台】仙台市内のスナックに備えつけてあったスロットマシンなどを盗んだ窃盗グループが、十二月三日までに仙台南署に逮捕された。

逮捕されたのは仙台市柳生字稲荷、大工阿部義美（24）、同市緑ケ丘三丁目、リース業者曽根憲（30）ら五人。調べによると阿部らは、さきに事務所荒しで同署に逮捕された暴力団組員木村、高橋とともに、さる八月二十日深夜、同市内のスナックに忍び込み「ワンダーボーイ」を盗んだほか、四月から十二月まで計十五台、約四百万円相当のゲーム機を盗み、中の百円硬貨もとり出し、機械は半値ぐらいで売りさばいていた。

なお曽根らは「ゲーム機がそんなところに置いてあること自体違法なことだから、盗んでも被害届もないので安心だ」と言ったという。

子供までもがバクチ

中学生7人捕導

メダルゲーム機流用

大阪市内でゲーム用のメダルを自動販売機に使っていた中学生七人が、十二月六日までに、大阪曽根崎署に窃盗の疑いで補導された。ところが驚いたことに、これらのメダルの入手先は、少年たちが住んでいる近くの菓子店など二軒の店さきに置いてある、改造型ロタミントなどのゲーム機であった。

これらのロタミント、十円硬貨を入れると、数字盤の組み合せで一枚ないし十枚の五十円硬貨とほとんど同じメダルが出る仕組。少額とは言えとばくの使用法なので、ここまで進んだかと捜索員もあきれている。

おわび

本紙十一号におきまして、ダックス貿易㈱の広告として「チャンスメーカー」を掲載いたしましたが、これは㈱東和物産の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

ゲームコーナー拝見

弘前のそのゲームコーナーは温泉街のパチンコ屋のように白々しく明るいのであった。

川　瀬　　憲

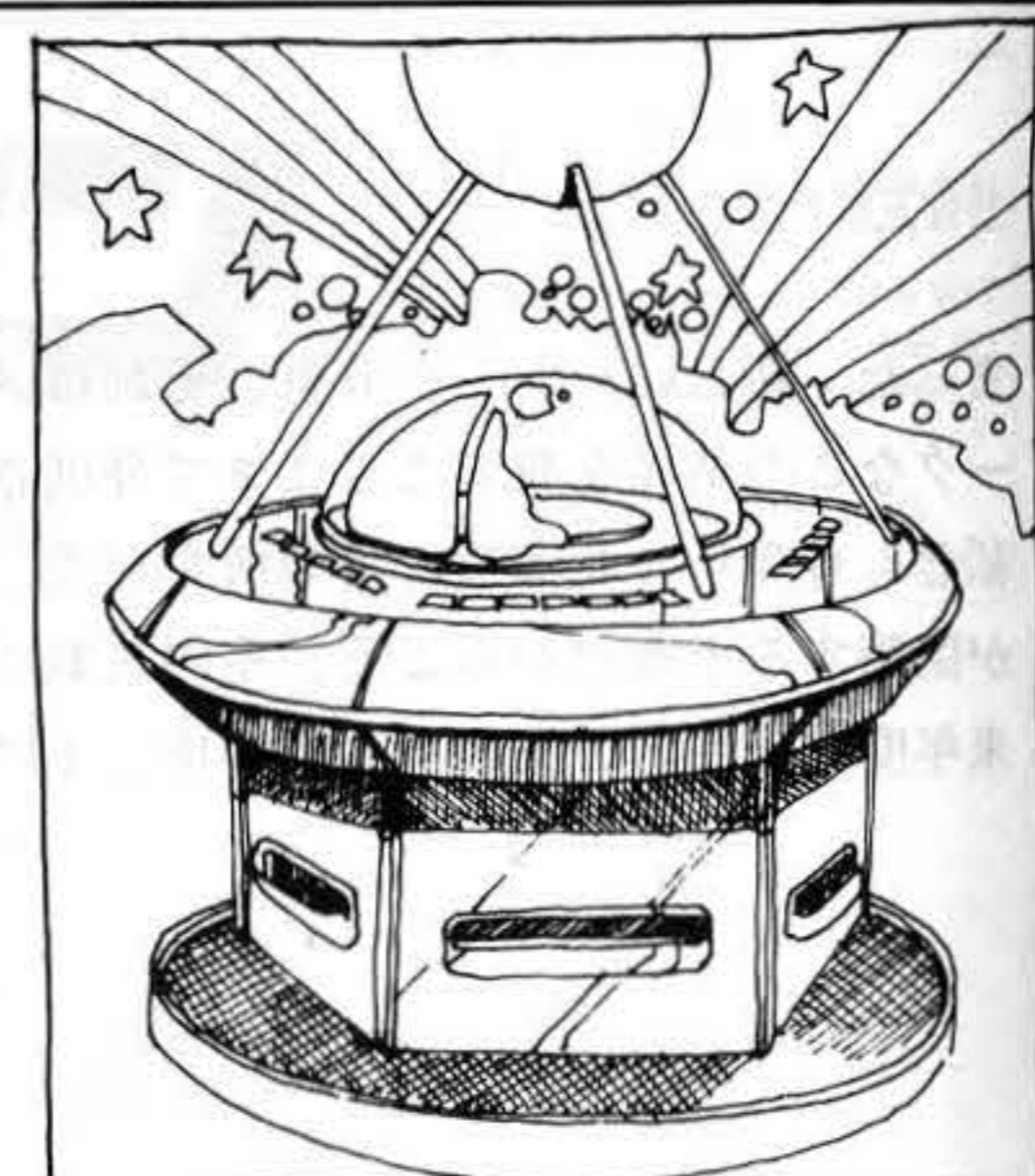
ゲーム場といっても、処変われば品変わるであって、街によってずい分とちがうものである。私は、仕事の関係でしばしば東京に出かけるが、東京のゲーム場と、大阪のゲーム場では相当に雰囲気がちがうと思った。

静かな印象の東京

東京のゲーム場の場合人は多いが、そのわりには店の中には活気はない。いや、活気がないというよりも、静かなのである。人々は、黙々とゲームに打ちこんでいる。そして他人のゲームを背後から眺めている人も、一様におし黙っている。ああ、これは図書館の雰囲気だな、ここで不用意に大声を発すれば周囲から「しっ」と、注意を受けるのではないかと思った程である。

では、大阪のゲーム場では、人々は陽気に語りあっているだろうか。実は、そうではないのである。東京での、この経験の後に、大阪のゲーム場をいくつか探訪してみたが、別に大阪だからといって、ゲーム場では陽気な会話が交わされていることはない。が、それでも大阪と東京とはどこかちがうのである。

また、東京に行く。川崎のゲームセンターにとびこんでみる。

川崎という街は、面白い街で、映画館は映画館で集まり、銀映通り（?）とかいった通りの名前まで決めてアーケードにかかげている。この伝で、トルコはトルコで集まり、その周囲にはキャバレーも集まって、確かトルコ・キャバレー通り（?）とかいったアーケードをかかげていた。他にパチンコ銀座やら、ボウリング通りというのがあるかどうか知らないが、少なくとも私の探したかぎりではゲーム場通りはなかった。ゲームセンターは、銀映通りやら、トルコ・キャバレー通りに何軒か集中していた。私のとびこんだゲームセンターは、銀映通りで最も大きい店であった。

川崎のゲームセンターでも、やはり東京と大阪とのちがいを感じる。こっちはどこか静かだと思うのだが、だからといって大阪と大きくちがうところをはっきりとは指摘できない。何だろう、何だろうと考えているところへ若い二人連れがやって来た。

川崎のふたり連れ

女性の方は、黒のロングコートをはおっていて、唇がくっきりと紅く、額が白く光ってみえる。これは、美人である。つきそう男も、これは劣らない。やはり、黒のロングコート、パーマのあたったロングヘアー、頬ひげそれに指輪まではめている。

この二人が店にはいって来ると、二人は際立って見えた。男の方は、店の入口のあたりに立って、女がメダルを買うのを待っている。女がやって来て、二人は肩をくっつけあって中にはいって来る。

女が、カロラマの前で立って、男の顔を見上げる。男は黙って頷く。女がメダルをとり出して、男の掌の中にすべりこませる。男は一歩ずらして女の隣のカロラマにメダルを放りこんだ。しばらくは、二人はまるで見知らぬ同士のように、互いに自分のゲームに打ちこんでいる。やがて、男のゲームが終了した。男は、また一歩身体をよせて、女のゲームをのぞきこんでいる。女のゲームはしばらく続いている。時おり、女は男をふり返り、ニッコリと笑う。男は頷く。そして、ふいに二人してロングコートを勢いよくひるがえして店の外へ一直線に出て行った。

それだけである。二人は、入って来てから出て行くまで一言も言葉を交わさなかった。これだなと、私は思った。そういう眼でみれば、若い女性が何人も店の中にいるのだから、このうちの何人かは男と連れだって来ているはずである。が、誰と誰とがペアーであるのか、まるで見当がつかないのである。

騒がしいのは大阪

大阪だとちがう。大阪であれば、店の中にはいっただけで、そしてしばらく丹念に見ていれば、どの女の子がどの男の子の連れであるか、すぐに分かる。大低、男は何度に一度かは女の後にやって来て、親切にコーチしているものである。それに二人で声高に話しあってもいる。

それに、もっとちがうことがある。男同士、女同士のパーティーでも、大阪の場合は、相当声高に話しあっているものである。ところが東京ではそれがない。東京では、仲間同士がよそよそしくふるまっている。

が、本当はそういうことではないのかも知れない。大阪では、ゲームセンターには、余り一人きりで来るのが少ないようだが、逆に東京では一人きりの客の方が多いようである。それに、東京のゲームセンターの中では、客層の年令分布が相当に広がっている。若い人でも、見るからにカッコイイという人よりもむしろ目立たない若者の方が多い。あるいは、これも店によって、盛り場によってちがうのかも知れない。例えば、新宿の近所だともっと若い人が多く、それもカッコイイ若者ばかりなのかも知れないが——。

「わァいがさねェ」

が、ここで私は東京と大阪とのちがいをあげるのが本意ではなかった。去年の夏に、ふとしたことで訪ねて行った弘前の街の、ゲームセンターのことを考えているのだ。

街の名前も知らないが、駅からの商店街にそのゲームセンターは、あけっぴろげに扉を開いていた。中にはいると異様である。何が異様だかというと店の中が暗くない。まるで温泉街のパチンコ屋のように、白々しく明かるいのだ。

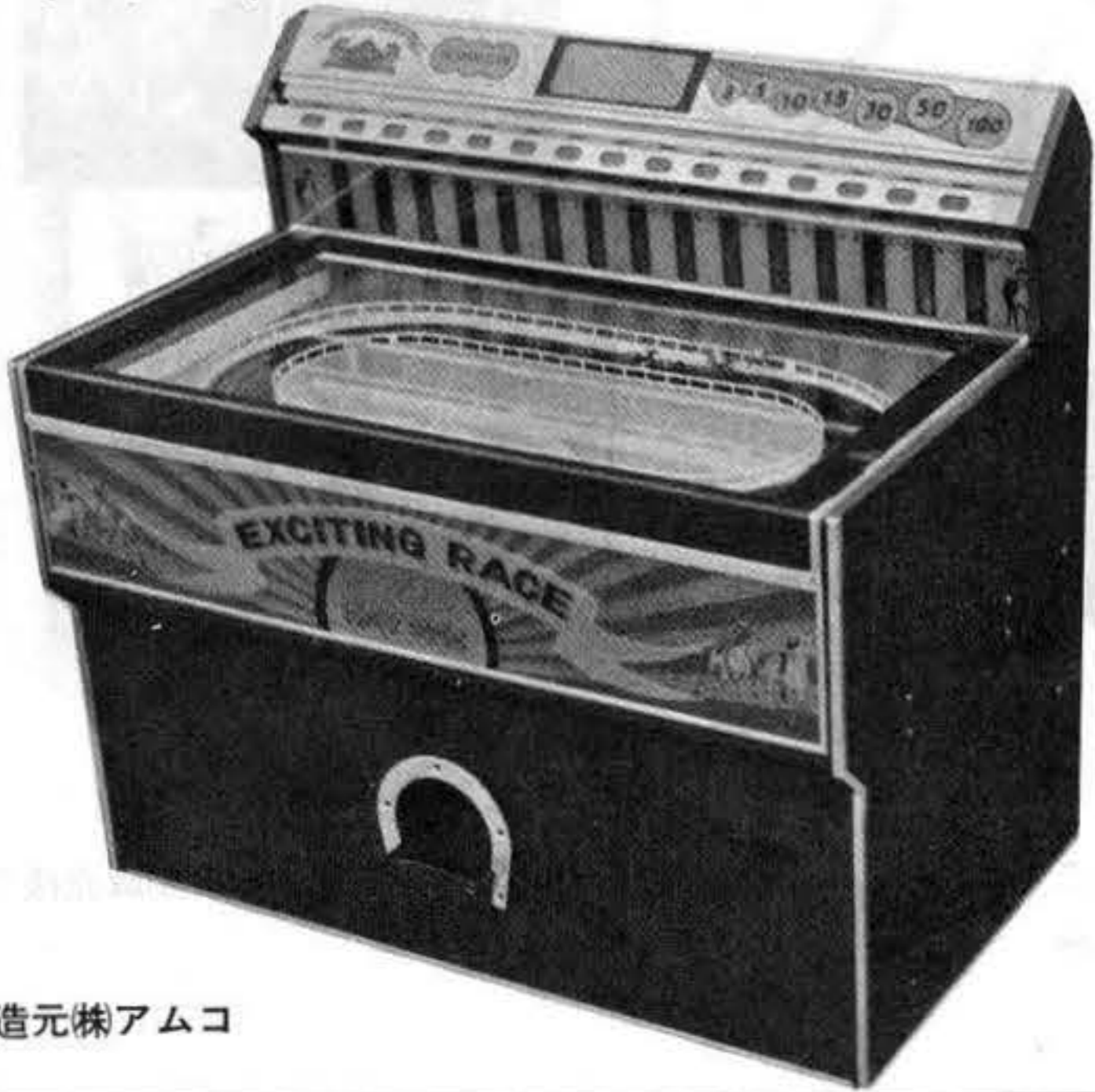
中には、大学生が四、五人はいってきた。

「わァいがさねェ（俺はいかさない）」

「だめだァ」と、胴間声が聞こえる。ただこの声は、東北民謡の小節で独得な曲がりくねった発声法で出されている。

そして、大学生は一人のゲームが終ってしまうまでじっと後にかけこむようにして見守っている。そして、一人が終ると、次に誰かが自分の好みのゲーム台に行く。すると、みんながつきそって行って、やはり後で、何だ何だと、多くは「おしいっちゃ」「もう少しだァ」などとしゃべっている。

このゲームセンターの雰囲気は、大阪のものとも、東京のものとも確実にちがった。

処変われば品変わる、ゲーム場にもお国、お国の雰囲気があるようである。

（かわせけん・ルポライター）

ご挨拶

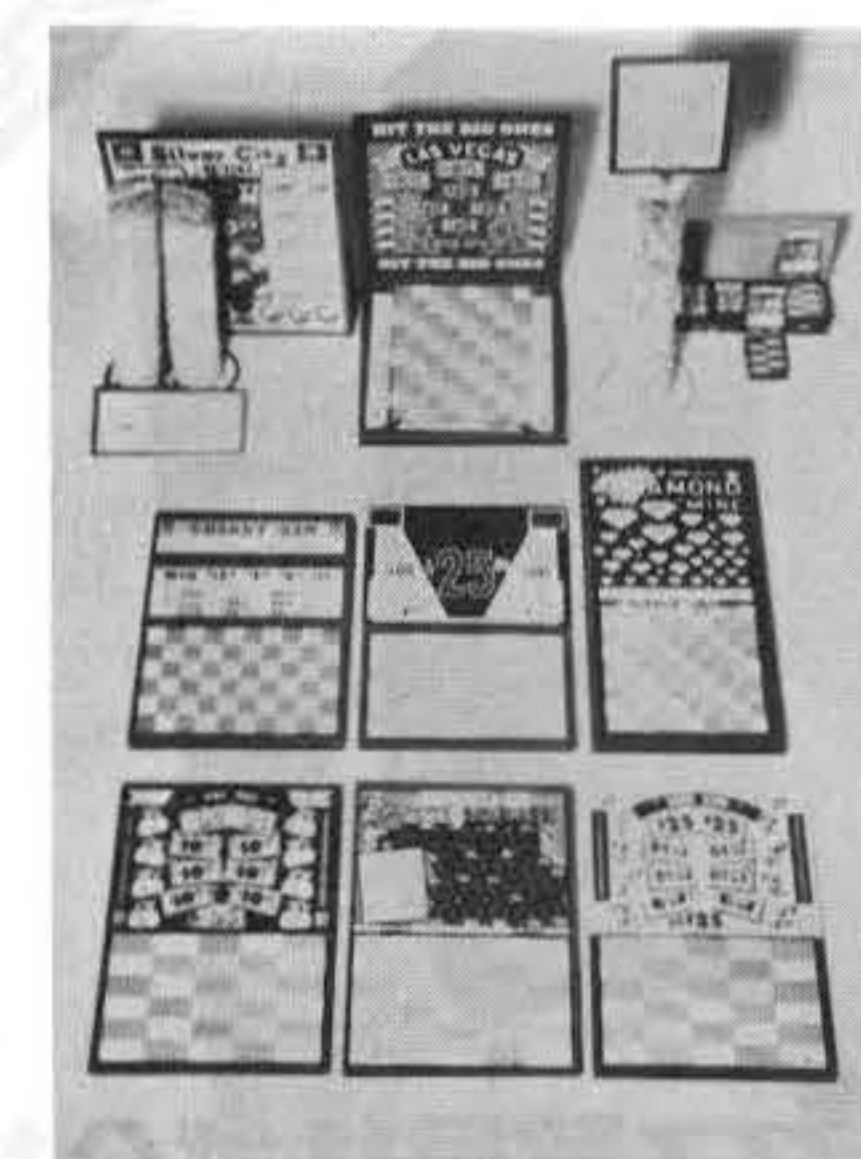
まったく新しいレジャー分野、それはメダルイン・メダルアウト方式のゲーム機を媒介に確立への道を歩んできました。世界的にもユニークなこの業界を我国でここまで発展させてくることができたのは、みなさまがたの強力なご協力、ご理解があってのことと存じます。私どもも今年、北海道に営業所を開設、遊戯機械の販売を通じて、この新しいレジャー分野に取組んでおります。冬期には屋外遊戯施設が閉鎖する土地だからこそ、室内遊戯によって人間同士のコミュニケーションを図っていく所存です。微力な私どもではございますが、来年度も一層のご支援をお願い申し上げます。

石川和代

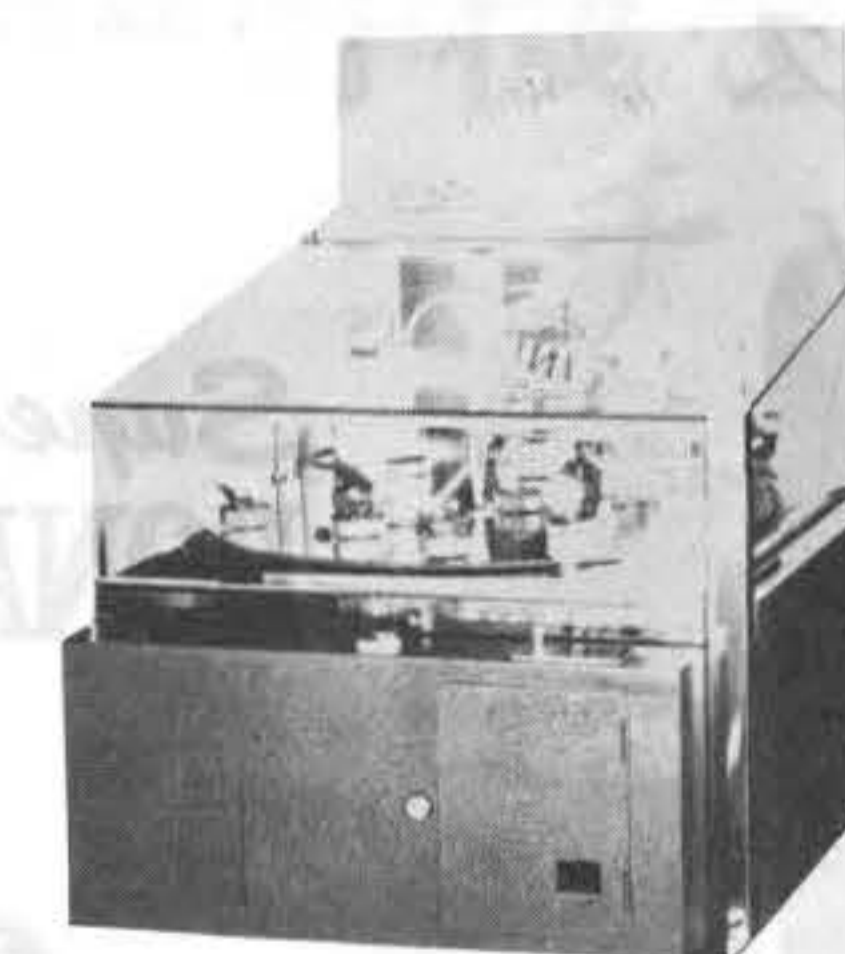
RSベンダー　50年1月より発売!!

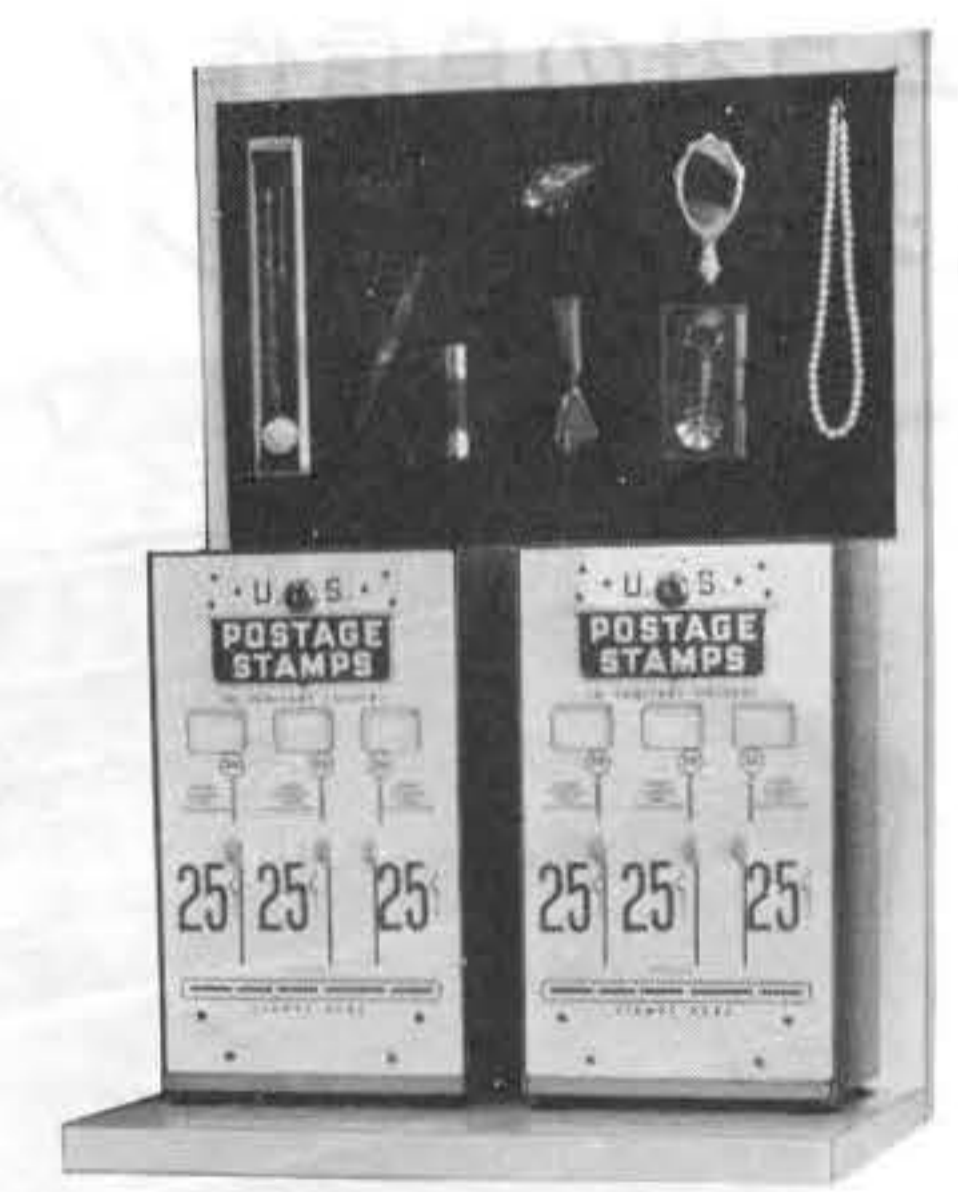
用途に応じた1000円札マシン　¥670,000.—

100円玉、雀球、25セントメダルなどの交換も思いのまま。RSベンダーをゲームマシンに接続すれば、千円札を入れるだけで、相応のメダルがゲームマシンへと流れ、メダルアウトできます。

リバーストン商会：本社 横浜市磯子区岡村町字笹堀1272 コーポ笹堀 ☎045(753)2250㈹・札幌営業所 札幌市中央区南2条西10丁目ジムテルビル内☎011(221)3847㈹

不況を乗りきるタフ揃い

パンチボード

商品の販売促進や、オペレーターなどのロケーションを確保します。

ミニスウィング

好みの商品を自分自身の手で落すことができます。高さ47㎝ 幅56㎝ 奥行56㎝

プレゼントベンダー

くじを引いて商品を選べる自動販売機です。